

藤岡市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和8年度）の達成状況の評価【令和6年度】

（数値の単位：人）

項目		前年度 (令和5年度)	状況 (令和6年度)	比較	達成状況の評価
旧鬼石町区域	人口（年度末日時点）	4,510	4,416	-94	・旧鬼石町区域の人口は4,416人であり、前年度と比較して94人の減である。社会増減は社会減、自然増減は自然減である。社会増減では転入数が増加した分前年度よりも減少幅が小さくなっている。これには移住支援や住環境の整備等が寄与しているものと考えられる。自然増減では死亡数の増加により減少幅が大きくなっている。 ・市全域の人口は61,247人であり、前年度と比較して794人の減である。社会増減は社会減、自然増減は自然減である。社会増減では転入数が大きく減少したため前年度の社会増から社会減に転じた。自然増減では出生数の増加には子育て支援の強化等が寄与しているものと考えられ、死亡数は増加傾向にあったが減少に転じた。
	社会増減	-47	-8	39	
	転入（増）	89	109	20	
	区域外からの市内転居（増）	24	21	-3	
	転出（減）	122	104	-18	
	区域外への市内転居（減）	34	29	-5	
	その他	-4	-5		
	自然増減	-79	-86	-7	
藤岡市全域	人口（年度末日時点）	62,041	61,247	-794	・旧鬼石町区域の人口減少を緩和し、将来的に人口維持から可能な限り増加への転換を図っていくため、本計画に掲げる取組を継続する必要がある。
	社会増減	97	-119	-216	
	転入（増）	2,312	2,146	-166	
	転出（減）	2,179	2,229	50	
	その他	-36	-36		
	自然増減	-702	-675	27	
	出生（増）	254	270	16	
	死亡（減）	956	945	-11	

＊各値は住民基本台帳による。

＊社会増減は転入者数等から転出者数等を減じその他の異動を加えた値であり、自然増減は出生数から死亡者数を減じた値である。

＊社会増減のその他とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による記載、消除または修正等による増減の差引である。

＊第5次藤岡市総合計画で設定する本市の平成39年（令和9年）目標人口は、62,000人である。